

## 5カ国エネルギー大臣会合共同声明骨子

### 石油市場

- 最近の原油価格高騰に対する深刻な懸念を共有。この価格は異常であり、消費国・産油国双方の利益に反する。現在の油価は、途上国をはじめとして重荷となっている。現在の経済状況打破のためには、金融・マクロ経済政策が重要であるとともに、エネルギー政策担当者による一致した行動が必要。
- 石油価格形成の短期的要因は在庫、地政学要因等複雑。この問題が来たるG8財務大臣会合で議論されることを歓迎。構造的・長期的要因は運輸部門の原油需要増大と、エネルギー分野における投資不足。不確実性を減じ投資促進のためには、開かれた透明な市場と公正かつ効果的効率的な規制が必要。参加国は自国の生産投資極大化の必要性を宣言。他の産油国に対し投資の増加を要請。
- 省エネ、非在来型石油、代エネ促進等、国内政策を抜本的に強化。運輸部門の代替輸送・代替燃料技術が不可欠。石油製品取引の増大は市場安定に貢献。
- I E Fの結果を評価。J O D Iを通じ完全に信頼に足るデータを提供。産油国・消費国は原油供給の不確実性を排除するために努力。

### 緊急時対応

- 供給中断リスクへの十分な備えを決意。中国とインドの戦略的石油備蓄の構築に向けた進展を歓迎。I E A加盟国と非加盟国の協力強化は、緊急事態に対する集団的な対応能力を強化。中国とインドの緊急時対応訓練への参加を歓迎。両国が、供給途絶時にI E A加盟国との協調行動への自主的な参加を前向きに考慮することを歓迎。

### 投資環境

- 上流部門、下流部門において持続的で適切なレベルでの投資の確保が必要。透明で公平で安定的な投資環境を確保。

### 省エネとエネルギー多様化

- 市場原理に立脚したエネルギー価格が省エネ、代替エネルギーに対する適切なシグナルを送ることから、従来型のエネルギーに対する価格補助金の段階的・漸進的な撤廃に向けて動くことが重要。
- 自主的な目標と行動計画の策定を通じ、効率改善やエネルギー源多様化のための政策や手段を強化し、ベストプラクティスを共有。

### 結論

- 第3回5カ国エネルギー大臣会合を韓国がホストするとの提案を評価。